

<発表申込書>

◆送付先 FAX:052-588-3012 E-mail:chubu@logistics.or.jp

〈会社名〉	〈所在地〉 〒
〈所属・役職〉	〈E-mail〉
	〈TEL〉
〈氏名〉フリガナ	〈FAX〉

1. 改善事例テーマ
2. 改善のポイント（参加者募集パンフレットに記載いたしますので、150文字程度でおまとめください）

【取扱商材： _____】

3. 改善の取組内容（現状把握・企画立案・実行について具体的に記載してください）
4. 改善の成果（定性的・定量的な成果を記載してください）

※この申込書のデータ（MS Word）をご希望の方は下記事務局宛にご連絡をいただくか、協会ホームページよりダウンロードいただきますようお願いいたします。

ご注意

製品およびサービスのPRを目的としたご発表はご遠慮ください

【お申し込み・お問い合わせ先】

◆公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 中部支部◆

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 4-12-17
TEL: 052-588-3011 FAX: 052-588-3012
E-mail: chubu@logistics.or.jp

中部物流改善 事例発表会2018 発表者募集

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）と一般社団法人日本物流資格士会中日本委員会では「中部物流改善事例発表会2018」を来る2018年11月21日(水)に開催いたします。

本発表会は物流における改善事例を広く募集し、その発表を通じて物流業務の効率化や生産性向上、ローコストオペレーション、環境負荷低減活動などを推進するためのヒントや課題を物流の実務者同士が情報共有し合う場です。ちょっとした工夫など身近な改善活動を気軽にご発表ください。皆様からの積極的なご発表をお待ちしております。

事例発表の応募締切時期：2018年8月上旬

発表会会場：名古屋銀行協会

発表会開催日：2018年11月21日(水)

対象者：物流改善の成果をあげられた荷主企業(メーカー、流通業等)の物流担当者、物流事業者・3PL事業者・物流子会社の担当者等



主催：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

募集内容

◎物流現場での、ちょっとした工夫やさりげない努力、すぐに現場で活用できそうな改善成果の事例

◎物流現場で行われている小集団活動にて生産性や物流品質、安全性、顧客サービス向上、コスト低減等を実現した事例

<たとえばこんな事例はありませんか？>

物流業務領域(物流センター等での現場改善)	物流管理領域(運営・管理部門での改善)
輸配送 ①トラックの共同輸配送における効率化 ②誤出荷や誤納の減少 ③トラックの積載率、回転率、運行効率の向上 ④トラックの滞留、積卸時間の短縮 ⑤コンテナラウンドユース、インランドデポの活用	情報システム ⑮ICTの活用による改善 ⑯IoT, AI, ビッグデータなど先進技術を活用した改善 ⑰物流拠点の統廃合、再配置による改善 ⑱事前出荷情報の取得と活用による改善 ⑲物流に配慮した包装設計 ⑳パレット、包装資材の環境対策
庫内作業 ⑥ピッキングリスト、棚表示、ピッキング作業の改善 ⑦人員配置の改善によるピーク時対応や負荷の標準化 ⑧荷役機器、保管設備、パレット、容器、情報端末などの改善 ⑨出荷頻度や取り扱い品に応じた保管・配置方法の改善 ⑩作業環境、作業方法の改善 ⑪包装作業の改善	管理系 ⑲納期回答の迅速化 ⑳取引条件の変更による改善 ㉑物流変動に合わせた作業体制によるコスト削減
輸出・輸入業務 ⑫港湾、空港など輸出入物流拠点における業務改善 ⑬コンテナ輸送における物流の効率化 ⑭通関業務における事務作業の改善	
その他 ㉒環境対応、環境負荷低減を目指した活動 ㉓CSの向上(クレーム減少) ㉔震災対応について(BCP) ㉕教育訓練によるモラル、モチベーションの向上 ㉖女性、高齢者など多様な人材の活躍 ㉗人材育成に取り組んだ事例 ㉘労務管理に関する事例	

発表事例選考・発表・表彰

◎選考：
発表事例の選考は取り組み領域、成果等を考慮し、実行委員会にて選考させていただきます。

発表いただく方には発表資料の作成をお願いします。

★原稿枚数：8～10枚程度、パワーポイント原稿（原則）

◎発表時間：
1事例20分間程度でご発表いただきます。詳細については選考結果通知の際にお知らせいたします。

◎表彰：
ご発表いただいた事例は優秀事例として発表会場で記念品を贈呈し、表彰させていただきます。

事例発表応募締切時期：2018年8月上旬

応募から発表までの流れ

応募締切
8月上旬

選考結果通知
8月下旬

発表資料提出
10月19日(金)

発表会
11月21日(水)

前回の中部物流改善事例発表会での発表事例

事例発表テーマ	発表企業
パートスタッフと障がい者に寄り添った職場づくりと生産性向上	アドバンスト・ロジスティックス・ソリューションズ株式会社
梱包職場の誤出荷低減QC活動～女性職場での改善推進～	カリツー株式会社
冷凍食品小口配送の事務所IT活用による効率化	株式会社システムギアソフテック
外国人の採用、教育、定着体制の構築によるドライバー不足解消	高末株式会社
在庫管理カテゴリーの分割管理による庫内業務等の改善	中北薬品株式会社
後追い物流からの脱却～部分最適から全体最適に向けた取り組み～	山田化学株式会社

過去発表者の声

QC活動を実践していたが、活動自体がややマンネリ化していた。本発表会での発表申込によってリーダーやメンバーが緊張感をもち、また発表の練習を行うことでより強い連帯意識がうまれた。
(物流子会社)

発表のための資料作成やプレゼンのリハーサルなどを行うことで、自身の取り組み内容を第三者にどのように伝えたらよいか、ということについて考えるよい機会となりました。
(中堅物流事業者)

普段取り組んでいる自社の改善活動がどの程度のレベルにあるのかわからなかったが、発表会で発表することでしっかり認識できた。今後も継続して発表していきたい。
(メーカーの物流部門)

過去に発表いただいた主な企業一覧

アイロップ、アシックス物流、アドバンスト・ロジスティックス・ソリューションズ、アトム運輸、あまの創健、アワーズ、伊藤忠製糖、伊東電機、インテクスト、エイ・ダブリュ・サービス、エスプール、エムツーシステムズ、エリア中京、エルシーコープ、岡谷システム、カスミ、カナレ電気、カヤバ物流サービス、カリツー、川崎陸送、九州丸和ロジスティクス、ケーエルシー、三愛ロジスティクス、ジェイティ物流、シーエックスカーゴ、システムギアソフテック、ジヤトコ、西濃運輸、セイノー情報サービス、高末、デンソーエレクトクス、デンソーロジテム、TOTO、飛島コンテナ埠頭、豊田自動織機、豊通非鉄センター、中北薬品、長浜キヤノン、鍋屋バイテック、ニチハ、日本貨物鉄道、日本トランスシティ、日立物流、富士精工、富士ロジテック、ホーユー、ポッカコーポレーション、ホンダロジコム、丸全昭和運輸、名港海運、山田化学、ヤマハ、ヤマハ発動機、ユニー、ロジックス、ロジワン、ワコール流通
(※原則として発表当時の御社名で記載しています)

中部物流改善事例発表会2018実行委員会 委員一覧 (敬称略)

委員長 加藤 博巳	高末(株) 代表取締役 社長	委 員 古橋 正得	(株)豊田自動織機
副委員長 中野 昭男	のぞみ経営研究所 所長		トヨタL&Fカンパニー
	(日本物流資格士会)		物流エンジニアリング部 企画室 室長
委 員 平野 光博	アトラスカーゴサービス(株)	〃 奥山 謙介	日本トランスシティ(株) 経営企画部 部長
	執行役員 物流事業部 部長	〃 檀 直正	(株)富士ロジテックホールディングス
	(日本物流資格士会)		執行役員
〃 西山 幸夫	コクヨサプライロジスティクス(株)	〃 峰澤 彰宏	(株)MINEZAWA 取締役 社長
	CSオペレーション部 中部IDC 所長		(日本物流資格士会)
〃 金本 俊哉	佐川グローバルロジスティクス(株)	〃 川北 俊信	名港海運(株) 業務部 部長
	営業部 名古屋支店 支店長	〃 猪野 直人	リコーロジスティクス(株)
〃 伊藤 裕明	(株)ダイフク 名古屋支店 支店長		中部事業部 事業部長